

平成20年8月5日 新刊発売開始

小池松次
Koike Mutsuji

迫る 餓死 迫る 日本

日本 日本 日本

評論家 西尾幹二氏
絶賛!!

本書は今の時代に
最も必要なる
警世の書である

小池松次
Koike Mutsuji

学習研究社

学習研究社

七章の「一億総餓死」でも生き残れる超優良野菜ケールの報告

著書で紹介したケールの種は外国からの輸入品です。商社に問合せしたら12月にならないと入荷しないとの返事でした。仕方が無いので当分の間は著者の農場の苗をお頒けします
5本入りポット1個500円。数に限りがあるので先着順です。
注文はFax番号 042-574-3770へどうぞ。折り返し領布日をFaxでお知らせします。毎日曜の午後1~4時、あすか会で。
東京都国立市東1-4-6 中央線国立駅南口2分(150m)
あすか会教育研究所代表 小池松次 042-575-0005

推薦のこぼ

評論家 西尾幹二氏

人が生きていく上で何よりも大切なのは心の強さである。強い人間は最悪の事態をじっと見つめて、怖がらない。弱い人間は最悪の事態は伏せて、ないことにして、超楽天的な見通しを語る。

今の日本人は圧倒的に後者なので、それがこの国を危くしている。平和ボケは外交や軍事だけでなく、身近な食糧問題にまで及んでいることを、本書はいっさいの希望的観測なしで、具体的な数値データをもって警告している。日本人は怖がらずに両眼を見開き、強い人間になって国家的危機を乗り越えなければならない。

大戦争は起こりそうもないからといって、一国の弱点はたえず狙われている。食糧安全保障はミサイル防衛に劣らず、重要かつ深刻であることを、本書は誠実に、熱心に説き明かしている。今の時代に最も必要な警世の書である。

- 第1章 船と石油が止まる日
- 第2章 日本の農業と食糧の悲惨な現実
- 第3章 歴史に刻まれた飢餓の記憶
- 第4章 米作り農家にも迫る餓死の恐怖
- 第5章 戦後食糧難体験からの教訓
- 第6章 日本人が生き残るためには
- 第7章 「一億総餓死」回避への提言

定価 1,800円(税別)